

救急豆知識

— やけど —

家庭でできる応急手当

やけどをしたら

まず、痛みがなくなるまで(約20分)冷やします。手足の場合には水道の水で、頭や顔の場合にはシャワーを弱くかけ続けるか氷のうで冷やします。早く冷やし始めるほど効果がありますので服を着たままでもかまわず冷やすようにしましょう。この時、乳幼児や高齢者の場合、冷やしすぎて低体温にならないように注意する必要があります。



◎皮膚が赤くなった程度のやけどをしたとき

範囲が小さく、赤くなった程度ならまず流水で十分冷やします。痛みがとれれば清潔なガーゼなどでおおうようにしましょう。

◎水ぶくれができたとき

皮膚が破けると細菌が入りやすくなるため水ぶくれはつぶさないようにしましょう。500円玉より大きいようなら病院に連れて行きましょう。



◎低温やけどのとき

湯たんぽやカイロ、ホットカーベットなど比較的温度の低いものに長時間触れたためにできたやけどは、小さくても皮膚の深くまでやけどが進行している可能性があるので、冷やしながら、すぐに病院に連れて行きましょう。

◎キズ口は清潔に!!

やけどの部位にみそやいも、へびいちご、アロエなどは塗らないで清潔にしておくのが一番です。

